

旧光徳小の返還は？

町長 社長の考えを聞いてから



米本 隆記 議員

【米本】旧光徳小学校を賃借している(株)大山金龍は、平成25年1月末に塩害や耐震の調査が終了する予定であった。その後、約1カ月半が過ぎたが、事業開始か撤退なのか動きがない。返還も含めてこの事態をどうするか。



どうなる？ 旧光徳小学校

【町長】今年12月までの家賃はもらっているが、(株)大山金龍の事業に進展が見えず、その対応に苦慮しているのは事実。早急に社長の考えを聞き、今後の方針を出したい。

【米本】大山恵みの里公社が設立されてから約6年、本来の役割が果たせていない。目的であった町内産品の販売・農家所得の向上、雇用の確保などの事業到達度はどうなっているのか。
【町長】平成25年度収入をどのように見込んで補助金を要求しているのか。
【米本】平成23年度の町内産品の委託販売の売上額は約1億5000万円、横ばい状況。29人を雇用、町内者が22人になっている。公社の目的は達成していると考えられる。



公社の本来の目的は？

公益的な取り組みや不採算部門に対する財政支援であり、赤字の補てんの考えはない。

大山恵みの里づくり計画を促進するための補助金であると判断している。

町長 本来の役割は果たしているか？ 公社の目的は達成している

リフォーム助成の継続は？

町長 1年間延長し検討



大森 正治 議員

【大森】「個人用住宅等改善助成制度」は、地域経済活性化とくらし応援の目的がある。状況と関係者の評価は。
【町長】町内業者に約8億円の発注があり、約8000万円の町内限定のお買い物券が流通した。満足度の高い制度だ。
【大森】改善点は。
【町長】変更は慎重に対処する。事業効果と弊害を勘案しつつ考えていく。広報活動に力を入れたい。
【大森】継続と拡充をどう考えるか。
【町長】1年間延長し、意見を聞きながら内容を検討していく。

通級指導教室の改善は？

教育委員長

県教委に要望している



通級指導教室のある名和小学校

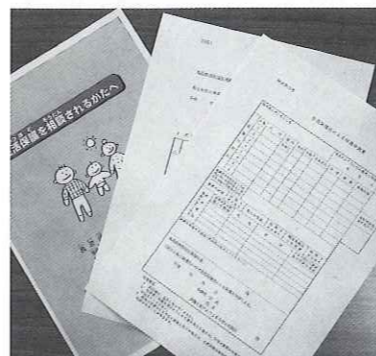
【大森】発達障害のある児童生徒に対して、状態に応じて特別な指導を行う通級指導教室が、名和小学校に開設されている。現状は。
【教育委員長】町内4小学校から18名が通っている。週1単位時間の児童が多い。
【大森】担当教員を増やしたり、中学校にも導入したりする考えはないか。
【教育委員長】中学校にも開設するよう県教委に強く要望している。
【大森】担当教員が、名和小学校以外に向いての指導はできないか。
【教育委員長】県内に例がなく、現状ではむずかしい。

生活保護費削減への対応は？

町長 国の議論を見守る

【大森】政府は、生活保護費の大幅削減を計画。受給者の生活を直撃し、基準引き下げに連動する就学援助・保

育料などに深刻な影響が出る。
町長の認識と対応は。
【町長】時代に合った適切な生活保護基準が構築されることを期待し、見守っていく。
【大森】町民の生活を守るために、どんな施策を考えているか。
【町長】町が代替措置をとるということではなく、現状の制度や基準の中でどんな施策を取るべきかを検討していく。
【教育委員長】就学援助への影響がおよばないよう、文科省は対応方針をまとめている。



生活保護の申請書類

みなさんからの陳情は こうなりました

3月定例会で審査した陳情の採決結果を報告します。

陳情の内容	陳情者	付託委員会	委員会の意見・結果	本会議採決結果
地方財政の充実・強化を求める陳情書	大山町職員労働組合 執行委員長 池山 大司	総務	陳情の趣旨は多くの点で理解でき、地方自治体の住民サービスに有効と考える。しかし、国・地方公務員の給与体系については、民間企業や国民の感覚と差があり、優遇されている。全会一致で不採択。	不採択
安倍内閣に TPP(環太平洋連携協定)への参加断念を求める意見書の提出を求める陳情	農民運動鳥取県連合会 代表者 今本 潔	経済建設	この陳情が提出された以降に安倍首相はオバマ米大統領と会談し、TPPは聖域なき関税撤廃が前提でないことを確認している。全会一致で不採択。	不採択
年金 2.5%の削減中止を求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県本部 委員長 増田 修治 ほか1名	教育民生	消費者物価指数に応じて給付水準を調整する物価スライドが行われていないため、消費者物価指数下落と年金との差が2.5%に拡大している。採択1人、不採択3人で不採択。	不採択
「生活保護基準の引き下げをしないこと」の意見書提出を国に求める陳情書	鳥取県生活と健康を守る会連合会 会長 中川 淑	教育民生	収入の逆転現象をなくす生活保護基準の見直し・不正受給対策などの制度の見直しに取り組むため、引き下げはやむをえない。採択1人、不採択3人で不採択。	不採択

※平成24年11月26日に提出された「島根原発1号機・2号機の再稼働反対と3号機の建設凍結を求める陳情書」は、12月定例会と同じく3月定例会でも継続審査としましたが、平成25年4月23日の議員任期満了にともない、審議未了となりました。

財政運営の見通しは？



岡田 聡 議員

町長 きびしい状況だ

【岡田】 地方交付税の減額や税収の大幅な落ち込み、それを補うための大きな額の借入金など、かなり苦しい予算編成のようである。名和拠点保育所の大型事業で町債が増えた。将来の見通しは。

【町長】 きびしい状況になる。短・中・長期の財政推計を行い、それにもとづき安定的な財政運営に努めたい。

【岡田】 今回の予算案の特徴は。

【町長】 名和拠点保育所の建設と、6年ぶりの財政調整基金の取り崩し。

【岡田】 政府の国土強靱化政策への対応は。

国土強靱化政策とは？

事前防災の考えに立って、道路・鉄道の未開通部分の解消・重要インフラの防御・総合的な管理などの政策を実施するもの。

ラスパイレス指数とは？

国家公務員行政職の基本給を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準を表すもの。



【町長】 有利な制度を活用し、必要な事業から優先的に取り組む。

【岡田】 町職員のラスパイレス指数の高い部分について、国からの給与カット要請にどう対応するか。

【町長】 平成24年10月から平成26年3月までの3%カットをしている。

【岡田】 子育てしやすい町づくりのために、保育料引き下げはできるか。

【町長】 子育てに配慮した保育料を設定している。町負担の約6600万円の大規模な増額が必要で財源確保がきびしい。

退職金の見直しは？

町長 考えていない



竹口 大紀 議員

【竹口】 町長の持論は退職金の見直し。理想的な退職金額は。

【町長】 考えていない。

【竹口】 退職手当組合の条例改正を訴えるという公約の達成度は何%か。

【町長】 数字で表すのはむずかしい。

【竹口】 4年間で、退職手当組合に規約改正を何回訴えたか。

【町長】 まったく訴えていない。

【竹口】 退職金額算定の給料月額を0円にする条例を制定しては。

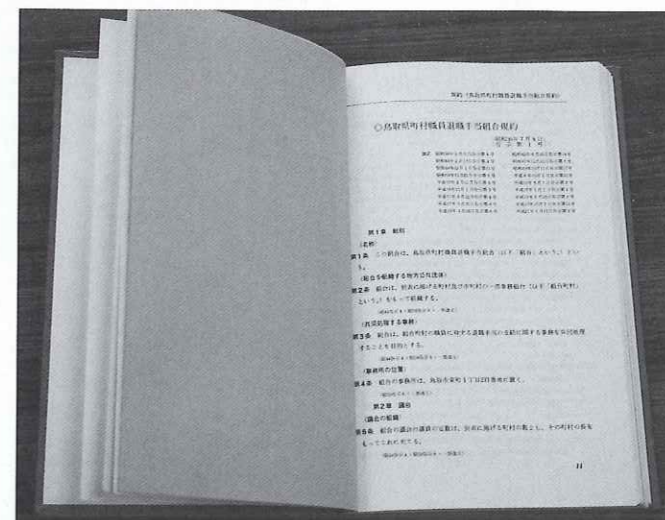
【町長】 参考にしたい。

【竹口】 町長の給料を減額すれば、退職金が見直せるのでは。

【町長】 そうなる。

【竹口】 これらの手法で、退職金の見直しという公約が達成できるのでは。

【町長】 給料を20%カットしているので、退職金は見直さないと。



退職手当組合の規約

陳情

本会議での

討論

● TPPへの参加断念

【賛成】(大森議員)

TPPは聖域なき完全撤廃を大原則にしている。関税がゼロになれば、安い農産物が大量に外国から輸入されて、稲作・酪農・畜産などあらゆる農業関係のものが打撃を受ける。

そうならば、食糧需給率が10%台に落ち込み、国土も荒れ、自然環境も荒れる。食の安全もおびやかされ、国民皆保険制度も危うくなる。本町の地域経済もおびやかされる恐れが強いのので、賛成だ。

【反対】(吉原議員)

TPP交渉参加を、3月15日にも政府は表明をするようだ。いま、この時期にいたっては守るべき聖域の議論を深める時期と考える。

【反対】(竹口議員)

TPPへの参加不参加は別として、交渉自体には参加すべき。今後の交渉次第で内容がよくも悪くもなる。万が一、交渉で内容がよくならなければ、国会で否決すれば独立国家なのだから協定は意味がなくなる。

● 年金 2.5%の削減中止

【賛成】(大森議員)

高齢者の生活がますますきびしくなっているつえに、税収減にもつながり町内の経済にも悪影響を与える。

【反対】(杉谷議員)

特例水準によって物価スライド制の数学よりも2.5%高くなっている。

● 生活保護の引き下げ中止

【賛成】(大森議員)

過去に例のない大幅カットで、貧富の格差をひろげることになる。

【反対】(杉谷議員)

生活保護世帯と低所得世帯との逆転現象も起きている。

専決処分が15議案も!

4月臨時会

平成25年第3回臨時会を4月30日に開催しました。
専決処分(一般会計補正予算など15議案)を承認し、人事案件4議案を同意しました。

特定継続世帯

【野口議員】 特定継続世帯とは。その金額の算定方法は。後期高齢者医療制度と国民健康保険制度のいずれにも加入している夫婦世帯で、国保加入世帯の平等割額を5年間2分の1に減額していたが、3年間延長し4分の1の減額となる世帯。

山香荘

【岡岡議員】 1070万円の使用料収入に対して、一般会計から2285万円の繰り入れがある。町が行う事業として正しい姿か。
【観光商工課長】 大きく運営形態を変えるため諸事業に取り組んできた。大規模改修などの経費で、一般会計からの繰出金が多くなっている。

結婚推進員

【岩井議員】 結婚推進員の謝礼が減額の理由は。
【企画情報課長】 結婚推進員の増員を計画したが、適任者がみつからなかった。

指定管理納付金

【西尾議員】 見込みで3100万円の収入に対し、910万円の減額になっているが、理由は。
【観光商工課長】 中の原エリアに指定管理者が約1億3000万円かけて人工降雪装置を設置した。減価償却費が発生して、指定管理納付金が減少となった。

除雪費

【杉谷議員】 道路除雪費は48万円の減額だが、除雪作業委託料が270万円計上してある理由は。
【建設課長】 大山寺周辺の除雪は、県も応援することとなり、その周辺と町道4路線は県と委託契約を結んでいる。



大山寺での除雪

専決処分とは?

本来は議会の議決が必要な事項について、議決をせずに首長みずから決めること。



むきばんだ

1月臨時会

社会体育施設など⇒(株)チュウブ
中山温泉館・生活想像館・四季彩園⇒(株)さんびる
御来屋漁港水産物直売所⇒鳥取県漁業協同組合

新しい指定管理者決まる!

平成25年第1回臨時会が1月16日に開催されました。
この臨時会では、主に中山温泉特別会計補正予算と中山温泉館などの指定管理者指定の議案で、議論が白熱しました。

社会体育施設

【米本議員】 指定管理料の高い(株)チュウブに決めたのはなぜか。
【社会教育課長】 いま課題となっているものを、自費でも実施する提案があった。
【竹口議員】 指定管理者は山香荘と同業者になれば相乗効果が期待でき、指定管理料が安くなるのでは。
【総務課長】 経済的に町にも有利だが、今回は社会体育施設などの指定管理者を募集した。
【岡田議員】 指定管理申請書にある事業収入は、(株)チュウブは(株)かいけと比較すれば約100万円多い。その理由は。
【社会教育課長】 小・中・高校生のスポーツ合宿誘致や少年交流野球大会・ママさんスポーツ教室の開催などを自主事業で実施する。

中山温泉館など

【米本議員】 指定管理料の3年間の計画が一番高い(株)さんびるが選定された。
前指定管理者の(株)かいけと、この業者の違いは。
【中山支所総合窓口課長】 新事業の内容は、マイクロボスの運行高齢者向け健康増進教室など。
【近藤議員】 一般客数を減らしてまで、高齢者サービスを評価する理由は。
【中山支所総合窓口課長】 医療費削減や地域活性化にもつながり、健康で魅力的なまちづくりともなる。
【諸遊議員】 指定管理者の行政評価はしているか。評価制度を検討する考えはないか。
【総務課長】 行政評価はしていないが、今後検討する。四半期から半期ごとに報告書は提出させている。

お魚センター

【野口議員】 指定管理者の事業収入が非常に少ないが、入浴者数の見込みは出ているか。
【中山支所総合窓口課長】 入浴者数の見込みは出していない。
【大森議員】 指定管理者の公募をなぜしないのか。
【農林水産課長】 町は指定管理料を支払わない。管理運営は、定置網も設置して安定した漁獲もあり、その直販事業に取り組む漁協が一番と判断した。

議会だよりが 全国2位に!

「議会だよりだいせん第28号(平成24年3月定例会)」が、全国町村議会議長会主催の第27回町村議会広報全国コンクールで、応募総数245紙の中から全国2位となる特別優秀賞を受賞しました。

多くの町民に、より深く議会活動を理解していただけるよう編集に取り組んできましたが、このことを高く評価されました。今後も、町民に親しまれる紙面づくりに心がけていきます。引き続きご愛読いただきますようお願いいたします。

コンクール審査員の評価をご紹介します

- ・若手企業家の特集、表紙は出色の好記事。個性的な紙面レイアウト。
- ・企画が多彩、予算・財政を正面からあつかう。審議状況の質疑・討論・賛否が整理されている。レイアウト、見出しなど高い水準の編集。
- ・独特のレイアウトも迫力があり読者を引き込む力を感じる。内容、技術ともたいへんすぐれている。
- ・傍聴の呼びかけを意識した記事や文言の工夫を期待する。



よりよい紙面づくりにつとめます(議長と広報委員)

議会を支える事務局職員!

4月に新しく議会事務局長として、小谷正寿さんが着任しました。
議会事務局は、職員3人で議会活動を支えています。



事務局長 小谷正寿



主幹 中井晶義



嘱託職員 関 真弓

議会の構成決まる!

4月30日に開催した、平成25年第3回臨時会で、議会運営委員会・常任委員会の構成が決まりました。

【議会運営委員会(定数5)】

- 委員長 吉原美智恵
- 副委員長 西尾 寿博
- 委員 岩井美保子
杉谷 洋一
大森 正治

委員長として、さらに適正・円滑な議会運営をめざし、熱意と誠意をもってがんばります。
行政・町民との連携をはかり、前へ進む議会となるよう努めます。また、議会活動のあり方には、課題も残されており、議員の協力をえながら取り組んでいきます。

【総務常任委員会(定数6)】

- 委員長 杉谷 洋一
- 副委員長 大森 正治
- 委員 西山富三郎
圓岡 伸夫
大杖 正彦
野口 俊明

総務常任委員の連携を大切にして、所管の担当課(総務・企画情報・税務・地籍調査・人権推進・総合窓口)と熱い議論を重ねながら、町民から信頼され、誰もが安全で安心して暮らせ、夢がもてるまちづくりをめざした委員会活動に努めます。

【教育民生常任委員会(定数5)】

- 委員長 西尾 寿博
- 副委員長 野口 昌作
- 委員 吉原美智恵
遠藤 幸子
加藤 紀之

幼児教育・学校教育・社会教育・保健・福祉など幅広く、身近な問題を多くかかえている委員会です。
子育てしやすく、教育水準の高い、安心して暮らせるまちづくりをめざすことが必要です。国からの交付税などの減少を考えた特色ある政策手腕が問われます。
委員会としての役割をしっかりと果たしていきます。

【経済建設常任委員会(定数5)】

- 委員長 岩井美保子
- 副委員長 大原 広巳
- 委員 岡田 聡
近藤 大介
米本 隆記

農林水産・観光商工・建設・水道など生活に密着し、課題の多い委員会です。担当課と智恵と工夫を出し合い、町民の協力をいただきながら取り組みます。

【広報常任委員会(定数6)】

- 委員長 大森 正治
- 副委員長 米本 隆記
- 委員 圓岡 伸夫
大杖 正彦
大原 広巳
加藤 紀之

議会だよりは議会の顔です。町民に読んでみようという気になってもらうことがまず必要です。そのために、読者の立場に立った紙面の充実を心がけ、親しまれる議会だよりにします。議会活動の広報だけでなく、町民にも登場していただきます。みなさんの積極的なご感想・ご意見もお待ちしております。



みんなのひろば



山根勝江 (所子)

農家民宿をオープンして

つばめが一心に果作りをしていて心とむ日々。念願の体験型農家民宿「珠心庵」をオープンすることができました。

シニア世代も巻き込んで、定住につながる魅力ある地域にしたいー朝日の昇る大山、夕陽の沈む日本海、田園の風景、小川のせせらぎ、鳥や昆虫の誕生にも出会える、木々や花の

香り、日々の暮らしの中でいつも心が満ち足りてゆく、そんな生活ができる大山町を「ふるさと」として、ひとりでも多くの方に暮らしていただくためのものです。

小さな幸せの種を切り一面に蒔いて、大きな花を咲かせたい！こんな働き方を探していらっしやる方々と一緒に力を合わせて、一歩ずつ歩んでゆきたいと願いながら。



田中泰蔵 (西坪)

鯉とスローライフ

私は大山町結婚推進員として、婚活イベントなど約80名の女性に大山町をプレゼンしてきました。めでたくゴールインしたカップルはごくわずかですが、この町に魅了された町外の女性は数多くあったと確信しています。

された女性とのやりとりが脳裏に焼き付いて離れません。それは、自然豊かな美しい大山町には病院もコンビニもあり、充実した環境ではあるが、仮に夜遅く外食したいと思った時、ファミレスみたいな場所がありませんか？と質問され、回答に困りました。

行政は「若い世代を応援する」と言いますが、人口増加のためには、次元の違うこうした要求にも時間をかけて応えなければいけないと思います。

最後に、4月に行った名和公園での合コンで、スタッフのひとりが面白いことを言いました。「鯉と鯉に下駄を投げた。どちらが履いたでしょう？」

答えは、「鯉は履かない」・・・恋ははかないものであります。



金平文雄 (樋口)

感謝と思いやりの心あふれる町に!

二十代の頃から心のあり方(心づかい、考え方)を大切にしているモラル(モラロジ)を学んでいます。

人生 人⇨人間⇨精神生活⇨道徳
生⇨生活⇨物質生活⇨経済

私たちは、道徳と経済の両方で生活が成り立っています。経済的な

ことに片寄りがちであり、心づかひや考え方については、必要性を強く認識して学ばないと続けて学習することはできません。

月に四回、町内で学習する機会があります。夜開かれるので、豚を飼っている私は参加するのが大変です

が、続けて学ばないとすぐ自己中心的な心づかひに戻ってしまいます。私たちは、だれもが良いことも悪いことも抱えながら生きていけると言われます。私も困難なことに出会い、気落ちすることもありますが、心づかひの指針を生かすことができ、生きていく大きな力になっています。

「感謝と思いやりの心あふれる町に」を願っています。

あとがき

4月に議員と町長の改選が行われた。議員は3人減の新しい顔ぶれが決まり、町長には森田氏が再選された。

町長選挙は、僅差の結果であった。選挙戦がはげしくきびしかっただけに、今後には負の作用をしないことを願う。逆に、選挙戦の政策論争を生かし、町民にとってプラスに作用する町政運営を期待したいものだ。

そのために、私たち議員の責任も重い。町民の目線で行政をチェックし、町民の福祉増進のためにしっかりと働かねばならない。

本町議会は「町民に開かれた議会」をかかげている。その一翼を担う議会だよりをめぐしていきたい。

大森

【発行責任者】

議長 野口 俊明

【広報常任委員会】

委員長 大森 正治

副委員長 米本 隆記

委員 圓岡 伸夫

委員 大杖 正彦

委員 大原 広巳

委員 加藤 紀之